

東京ハウプトコア 第5回定期演奏会

J.S.バッハ「ロ短調ミサ」

J.S.Bach Messe in h-Moll BWV232



2011年9月18日(日) 14:00開演 13:30開場

第一生命ホール

晴海トリトンスクエア(都営地下鉄大江戸線勝どき駅 徒歩8分)

客演指揮 **ヴォルフガング・ツィルヒャー**

ソプラノ 須崎 由紀子 テノール 吉原 教夫

アルト 城守 香 バリトン 小松 英典

合唱 東京ハウプトコア オーケストラ アンサンブル of トウキョウ



Wolfgang Zilcher
conductor



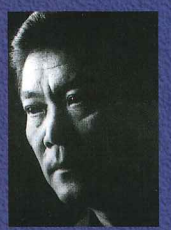
Yukiko Suzaki
soprano



Kaori Shiramori
alto



Norio Yoshihara
tenor



Hidenori Komatsu
baritone

主催：東京ハウプトコア／後援：日本合唱指揮者協会JCDI/Schöne Stimmen

全席指定 5,000円

チケット・お問い合わせ：東京ハウプトコア事務局(笠原)

TEL & FAX 048-298-4626 MOBILE 080-3481-0911

電子チケット 0570-02-9999 pia.jp/t (Pコード142-997)

TOKYO HAUPTCHOR

<http://homepage3.nifty.com/hauptchor>

J.S.Bach Messe in h-Moll BWV232



客演指揮：ヴォルフガング・ツィルヒャー（ドイツより招聘）

Wolfgang Zilcher Conductor

ブルツブルグに生まれる。父は著名な作曲家ヘルマン・ツィルヒャー。ベルリンとフライブルグの両大学において教会音楽をペピング教授、ヘルムート・リリング、マルティン・ベアマン等に師事。1973年ハンブルグ近郊のレリンガー教会の音楽監督に就任した。指揮者としてバハから現代のものまで、多くの主要オラトリオをレパートリーとし、ドイツ国内はもとより、ヨーロッパ他世界各地にて演奏活動を展開している。日本に於いても、バハ「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」の指揮者として招聘されている。

ソプラノ：須崎 由紀子

Yukiko Suzaki Soprano

小松英典教授、ロレーヌ・ヌベール、田口久仁子諸氏に師事。(社)日本歌曲振興会コンクール声楽部門第二位受賞。(仏)エビアン市文化・芸術フェスティヴァル芸術賞受賞。1996年外務省海外派遣で招聘される。以後パリ市、ノートルダム教会、イタリア文化会館連続リサイタル。ソリストとしてザルツブルク大聖堂、ハンブルク市教会、(伊)クレモナ大聖堂他出演。国内：中田喜直作曲家本人伴奏のリサイタルや、同氏御指導の下、歌曲集「魚とオレンジ」全曲出版初演の後、レコード芸術推薦盤CDとなる。音楽の友社・追悼版。現在再々版。ポーランド語による「ショパン歌曲集」全曲本邦初演。日演連推薦リサイタル等、高評される。TVCM、新創作オペラ、第九、宗教曲のソリストとして活躍中。CD「薔薇の追憶」鳥井俊之作品等。日本演奏連盟、(社)日本歌曲振興会、東京室内歌劇場、Schöne Stimmen、日本合唱指揮者協会会員。



テノール：吉原 教夫

Yoshihara Norio Tenor

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。同大学院博士課程在籍中。松田トシ賞、アカンサス音楽賞などを受賞。同声会新人演奏会、第76回読売新人演奏会に出演。第55回「藝大メサイア」(朝日新聞社主催)でテノールソリストとして出演した他、宗教曲では、メンデルスゾーン「聖パウロ」、ハイdn「天地創造」、ベートーヴェン「第九」などのソリストも務めた。オペラでは、ヴェルディ「椿姫」アルフレード、「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョなどを演じた。東京ミュージックアーツ、さいたまシティオペラ各会員。



メゾソプラノ：城守 香

Kaori Shiromori Mezzo Soprano

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程ソロ科修了。在学中より数多くの演奏会に出演し、'96年ポーランド国営TVラジオホールに於いてG.カリッシミ「イエテ」の史家を歌い、海外においても演奏活動を始める。以後、オラトリオの分野ではこれまでに、G.ヘンデル「メサイア」、W.A.モーツァルト「レクイエム」、J.S.バハ「マタイ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」、G.ヴェルディ「レクイエム」、M.デュリュフレ「レクイエム」等のソリストを務める。第10回宝塚ベガ音楽コンクール声楽部門第3位。第5回藤沢オペラコンクール入選。'01年より小松英典氏の薫陶を受け、Schöne Stimmenの一員に加わる。平成23年度奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第1位。



バリトン：小松 英典

Hidenori Komatsu Baritone

ハンブルクで宮廷歌手アーノルド・ヴァン・ミル、エディット・ラング、ルネ・コロらに師事。'80年、リユーベック国立音楽大学リート・オラトリオ・オペラ科を卒業。ドイツ各地でプログラム「美しきマゲローネのロマンス」、シューベルト「冬の旅」のリサイタルの他、多くの著名な歌手と共演、ザルツブルク音楽祭などヨーロッパの主要なフェスティヴァルにも参加している。小澤征爾指揮によるR.シュトラウス「サロメ」、プッチーニ「マノン・レスコー」、バハ「マタイ受難曲」他は絶賛された。また、「小松英典マーラーを歌う」、イエルク・デムスとの共演による「冬の旅」「四つの厳粛な歌」などのリサイタルは大きな反響を呼んだ。プッチーニの「蝶々夫人」(シノーポリ指揮)、「日本歌曲」、「世界の歌」(モル・ファズベンダー/ドイツ、フランスでレコード優秀賞を獲得)などを録音。ドイツ連邦共和国より永久プロフェッサーの称号を授与される。



合唱：東京ハウプトコーア

TOKYO HAUPTCHOR Choir

小松英典(ドイツ政府称号永久プロフェッサー)音楽監督、須崎由紀子(日本合唱指揮者協会、Schöne Stimmenほか会員)主宰・指揮の混声合唱団。東京の中心でその歌声が響き渡るように(“Haupt”=中央の意)という願いを込め、音楽監督により命名。東京四谷を発信地として2001年2月に誕生。ハーモニーの基本となる発声を重視し、オラトリオ、ミサ曲などを中心にオーケストラとの共演を基本に活動している。これまでに、ドイツ・ベルギー演奏旅行、4度の定期演奏会とスプリング・コンサート、東京カテドラルでのクリスマスに参加、等を経験。今までの演奏曲目：バハ「クリスマス・オラトリオ」、「カンタータ」、「ヨハネ受難曲」。フォーレ「レクイエム」、モーツァルト「レクイエム」、ハイdn「天地創造」他。

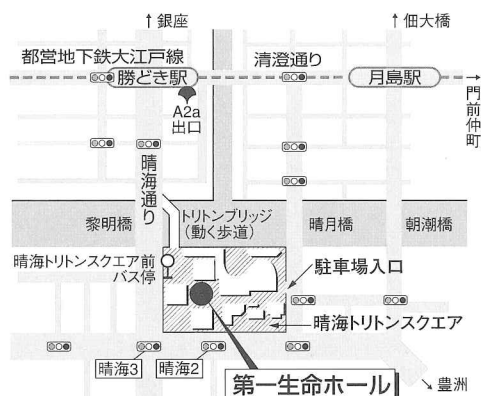


「天地創造」東京ハウプトコーア&杉並オラトリオ合唱団ジョイント

オーケストラ：アンサンブル of トウキョウ

Ensemble of Tokyo Orchestra

フルート奏者 金昌国を中心に、多方面で活躍する音楽家によって結成された、新しい形のアンサンブルである。同質の音楽感を持ち、密度の濃いアンサンブルを目指している若手、中堅演奏家20名の同人的なメンバーを持ち、彼らを中心にプログラムに応じて客演を入れたりしながら、その都度、編成を変えて演奏を行うことに特徴がある。年4回の東京における定期演奏会をはじめ、やまみ国際音楽祭、小布施国際音楽祭、さいたまアンサンブルの中心アンサンブルとして活躍。海外ではソウル、ニューヨーク、フランス、イタリア、ドイツの各地で公演。CDも多数リリース、好評を得ている。2005年4月、日本管打・吹奏楽アカデミー賞受賞。



●チケット取り扱い <7月8日(金)発売>

チケットぴあ TEL 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/> (Pコード:142-997)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

●チケット・お問い合わせ

東京ハウプトコーア実行委員会(笠原) TEL & FAX 048-298-4626 Mobile 080-3481-0911

オフィシャルウェブサイト <http://homepage3.nifty.com/hauptchor/>

